

地区国際奉仕委員会は各クラブの国際奉仕活動が

一歩世界へ踏み出せるように支援します。

地区国際奉仕委員会活動計画

1. 国際奉仕活動ゼロクラブへの支援
2. 卓話 随時受付実施
3. 「地区補助金」「グローバル補助金」周知推進
4. IMでの国際奉仕活動PR
5. 奉仕プロジェクトセミナーへの参加
6. 国際大会への参加呼びかけ
7. 報告書の作成

- 国際奉仕活動へ一歩踏み出すことに迷われているクラブの方へ
 - ・企画立案、実施へのヒントを提供させて頂きます。
 - ・卓話へクラブが望む講師を派遣します。
- 金銭的に問題があると考えているクラブの方へ
 - ・ロータリー財団の「地区補助金」「グローバル補助金」の活用をお勧めします。まず一度担当者をクラブへ呼びましょう。派遣のお手伝いをします。一歩進む糸口を探しましょう。
- IMでのPR活動
 - ・7月～8月に各地区で行われますIMで奉仕プロジェクトチームのPRの時間を頂くことに成りました。国際奉仕委員会の活動を第2790地区全会員へPR出来る最大のチャンスだと考え次の事項をPRさせて頂きます。
 - ・国際奉仕活動を一歩踏み出して頂けるよう、その魅力を伝えます。
 - ・ロータリー財団の「地区補助金」「グローバル補助金」を利用してさらに活動を広げて頂けるよう呼びかけます。
 - ・国際大会（韓国ソウル）参加へのPR 国際奉仕活動の第一歩として捉えて頂き

- 大会の素晴らしさを会員に伝え第2790地区全クラブが参加して頂けるように全会員に呼びかけます。
- ・国際奉仕に関する卓話、質問を随時受け付けます。
 - 10月奉仕プロジェクトセミナー開催（国際奉仕実施ロータリークラブ、実施準備中ロータリークラブに発表の場を提供します。）
 - ・国際奉仕活動を実施されたロータリークラブには「やってきたぞ」と大きな声でその内容を発表して頂きます。
 - ・実施準備も整い「これから出発するぞ」と言うクラブの方にも大きな声でその内容を発表して頂きます。
 - ・活動を躊躇されているクラブは、ぜひ、活動内容を参考にして頂き来年に向けて計画立案のきっかけにしていきたいと思っております。（来年度、地区補助金、グローバル補助金の準備も合わせて呼びかけます。）
 - ・国際大会のPR 国際活動の第一歩として参加を呼びかけます。
 - 28年5月世界大会「韓国ソウル」第2790地区の全クラブで参加しましょう。大会の素晴らしさを味わいましょう。

国際奉仕活動に関するお問い合わせは最終ページに記載されています。気軽にごんごんお尋ねください。卓話もどしどし申し込んでください。

国際ロータリー第2790地区
地区奉仕プロジェクト委員会 御中

2015-16年度「奉仕プロジェクト卓話」依頼書

クラブ名 _____ ロータリークラブ

卓話希望委員会名（希望する委員会に○をしてください。複数でも構いません）

_____ 職業奉仕委員会 _____ 社会奉仕委員会 _____ 国際奉仕委員会

卓話希望日

	日 程	例会開始時間
第1希望日	年 月 日 ()	: ~
第2希望日	年 月 日 ()	: ~

クラブ担当者

役 職 _____
氏 名 _____
連絡先 TEL _____
Eメール _____

※特記事項：地区奉仕プロジェクト委員会は、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を統括しており、範囲が広く準備の都合もありますので、強調事項をお示しいただけると幸いです。

※卓話依頼書送付先

FAX : 043-307-2791 (ガバナー事務所)

Eメール: 15-16gov@rid2790.jp (ガバナー事務所)



一歩踏み出そう、奉仕活動へ！
一歩踏み出すと、
クラブに感動と活力が湧きます！

一歩踏み出せるように「奉仕プロジェクト委員会」は支援します。



世界へのプレゼントになろう

奉仕プロジェクト統括委員長	嘉規 洋 (船橋西RC)
職業奉仕委員長	川原 勝壽 (佐原RC)
社会奉仕委員長	山下 清俊 (市川東RC)
国際奉仕委員長	石井 弘 (松戸西RC)

2015-2016 奉仕プロジェクト委員会

統括委員長 嘉規 洋（船橋西 RC）

活動方針

ロータリーの団体奉仕は個人奉仕の為にあるということから、奉仕プロジェクト委員会は社会奉仕委員会・国際奉仕委員会に加え、今年度は職業奉仕委員会が加わりました。職業奉仕の理念を噛み砕き個人奉仕に繋げてもらいたいという想いから3委員会 で連携して活動することになりました。

奉仕活動は大切なロータリー活動の一部です。当地区にはロータリーの「6つの重点分野」に沿った国際的な分野から身近な地域に対する分野まで様々な奉仕活動が行われています。奉仕プロジェクトを実施することは会員の参加を促し、プロジェクトの成功は達成感や結束が生まれ、さらに魅力的なクラブへ変化を遂げるでしょう。しかしながら中には奉仕プロジェクトを全く実施していないクラブがあります。それは奉仕の機会を会員に提供出来ていないことにもなります。地区内のクラブが魅力的になるように私たちは会員やクラブが実施する奉仕プロジェクトの立案をサポートして参ります。

活動計画

- 奉仕プロジェクトセミナーを1回／年実施する。（10月実施予定）
- ロータリー財団地区補助金の内容を周知し、利用を促す。
- 卓話を年間通して実施する。
- 各クラブの社会奉仕・国際奉仕の計画と実施した結果を把握する。
- 地区HPやSNSサイトを利用して奉仕プロジェクト委員会の活動状況や地区内クラブの社会奉仕・国際奉仕活動状況を発信することで地区とクラブの距離を縮める。
 - Facebook：Ri2790 地区 2015-16 奉仕プロジェクト委員会（「2790」で検索して頂くと候補に出てきます）
- 国際大会（ソウル）への参加推進を行う。
- 職業研修チーム（VTT）を周知する。（職業研修チーム（VTT）とは、専門職業人のグループが海外に赴き、スキルや知識を学んだり、 現地の 専門職業人にスキルや知識を提供するものです。 クラブや地区は、このVTTを支援す るために、地区補助金またはグローバル補助金を使うことができます。 VTTは、長年にわたるロータリーの職業研修への取り組みを土台としています。活動内容はチームによって異なりますが、例えば、心臓外科手術と治療について医師や看護師を研修したり、幼児教育に関するベストプラクティスを学んだり、新しい灌漑技術を農家に指導するなど、さまざまな活動が可能です。）
- 地区大会で奉仕プロジェクト委員会活動を広報する。
- 「ロータリー希望の風奨学金」のPRと寄付を募る。
- 他の地区委員会と連携し活動の相乗効果を図る。

国際ロータリー・第2790地区 2015-16年度 奉仕プロジェクト委員会 職業奉仕委員会 IM PR用資料

職業奉仕の精神は、ロータリー活動の屋台骨に変わりはない。

実り多い年度にするために、皆で情報を共有しよう！

- （1） **巷間、国際ロータリーは、職業奉仕をないがしろにしているというが……？**
まことしやかな、噂話に過ぎない。
そうでないことは、「ロータリアンの行動指針」に明らかである。

<p style="text-align:center">ロータリアンの行動規範</p> <p>ロータリアンとして、私は以下のように行動する。</p> <ol style="list-style-type: none">個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。 ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。（2014年10月理事会で削除）

2011-12年度のRI理事会で、《ロータリアンの職業宣言》に代えて、8箇条からなるRotary Club of Conduct（ロータリーの行動規範）が採択された。その後、2013年5月に改定がなされ、5箇条からなる『ロータリアンの行動規範』が各地区に伝達された。特筆すべきは、第1項で、「職業」より範囲の広い「事業」という表現を使って改定されている点である。更に、2014年10月の理事会において、第5項が削除されている。四つのテストに鑑みれば当然の措置である。

第1項と第2項が、職業人としての行動のありようを説いている。それを受けて、職業人としてその精神を実践する中で、次代を担う若人への支援、更には、地域社会や世界への貢献をしているこう、というのが第3項である。国際ロータリーは、職業奉仕をないがしろにしているどころか、優先的に職業奉仕を誣い、他の奉仕活動につなげることを示唆していると読むべきであろう。

『職業奉仕は、社会奉仕・国際奉仕と折り合いは付くのか？』と考えてみて下さい。奉仕活動に思いが向くのは、職業を含む個人のあらゆる事業が上手くいっているから出来ることであると気づくでしょう。今年度は、思い切り泥臭く職業のあり方、職業奉仕のあり方を追究し、奉仕の種を探していきたい。自らが幸せでなくして、人の幸せ作りのお手伝いをするとは叶わないであろう。先ず足下から！

- （2）「**一歩でも前へ進もう！**」

（地区職業奉仕委員会の立ち位置・考）
ロータリーに正解はない。10人いれば10人の、100人いれば100人のロータリー観がある。それを、どちらが正しいのかと議論しても、詮無いことである。問答するならば、「昨日の自分」と「今日の自分」とでするがよい。堂々巡りをするならば、己が成長していない兆しとらえたい。他人の意見に、謙虚に耳を傾け、自分のこころの肥やしにするくらいの度量が欲しい。今ほど、自分磨きを疎んじる世相はないように思う。

ほんの少し前まで、人や社会に希望があったように、ロータリアンには、人格陶冶に意を配るロータリアンとしての矜持が、それぞれにあったような気がする。かつて、賢人は、この矜持を『ノープレスオブリージュ』と表現された。これは、「高い地位にある者は、高い徳を備え、重い責務を果たす必要がある」という考え方をいい、「選ばれし者の責務」ともいわれる。

ここ数年、一人ひとりがロータリー観を磨き上げて欲しいという希望を抱いて、元気づけるための言動を心がけてきた。なんとなく元気のないロータリアンに元気を取り戻して欲しい、その一念での愚挙であった。

京都南禅寺の近くに、琵琶湖疎水を引き込んだ東山別荘群がある。その庭の多くを手がけたのが、植治こと植木屋治兵衛、7代目小川治兵衛である。彼は、弟子達に言い続けた。「人格を磨け、人格以上の庭は出来ないのだから」と。

学生時代、ネラン塾で議論しあった畏友・鈴木博之氏の『庭師小川治兵衛とその時代』（2013年上梓・東京大学出版会）に詳しい。残念ながら、彼は、昨年68才で鬼籍に入る。

人格陶冶の手段として、ぜひRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）にご参加を！

社会奉仕委員会

地区社会奉仕委員長

山下清俊（市川東RC）

活動方針

私たちロータリアンにとって一番身近で奉仕活動ができる機会、それはクラブの社会奉仕委員会で計画したプログラムを実行することではないでしょうか。そのお手伝いをさせていただきますのが、地区の社会奉仕委員会です。

本年度、地区社会奉仕委員会といたしましては、この各クラブの社会奉仕活動の計画～実行に対してどんなお手伝いができるのかを確かめながら、全力を挙げて取り組んで参ります。

これまででも、地区内各クラブ、国内更には世界まで目を拡げてみますと、それぞれのクラブで多種多様な社会奉仕活動が行われていることがわかります。2014-15年度の地区アンケート結果でも、回答をいただいた74クラブすべてで、何らかの社会奉仕活動がやられております。

その最終的な結果である「実行」に至るまでには、まず様々な動機やきっかけがあって、更に「どんな活動をしようか?」、「どこに話を持っていけばいいだろうか?」、「資金は?」、「人手は?」などいろいろな課題を解決してこられたことと思います。あるいはその検討の中で、残念ながら実行に至らなかったプロジェクトもあったのではないかと思います。そこで、私たちはそのプロセスに焦点をあて、探っていくことで、皆様各クラブの社会奉仕活動の実践に少しでもお役に立てればと考えております。

特に資金については、ロータリー財団の地区補助金を有効活用することが、社会奉仕活動のレベルアップに繋がることが期待できますので、この面でのお手伝いをして参ります。

これについては、補助金申請のスケジュールとの関係もあり、単年度でとらえるのではなく、むしろ次年度の計画を意識した中で取り組んで参ります。

活動計画

- 年度開始早々に実施されるIMで少しお時間をいただき、各分区のクラブ会員の皆様に直接、今年度の活動についてお伝えする。
- 奉仕プロジェクトセミナーに先立ち、各クラブに対してアンケートを実施する。
- 奉仕プロジェクトセミナーでは、アンケートの結果から社会奉仕活動のプロセスに焦点をあてて、各クラブの実践（計画～実行）の参考となる報告と討議を行う。
- 各クラブからの社会奉仕に関する卓話要請や相談に対して、随時対応する。
- 他の地区委員会との連携を図る。
- 「ロータリー希望の風奨学金」に対する寄付を募る。